

- 1 単元 学校のまわり
 - 2 指導計画（14時間完了）
 - (1) 通学路や家の近くにあるお気に入りの場所調べ…2時間
 - (2) まちの探検計画…2時間
 - (3) まちの探検…4時間
 - (4) まちの絵地図づくり…2時間
 - (5) 絵地図の整理…2時間
 - (6) 高いところから眺めたまちの様子…2時間
- ┌ 気付いたことの発表 …1時間
- └ まちの様子の話し合い…1時間(本時2/2)
- 3 本時の指導
 - (1) 目標

身近な地域の特色やよさ、場所による様子の違いを考え、適切に表現することができる。
 - (2) 情報活用能力の育成について

対話したり協働したりして情報を交流し、自分の考えを広げることができる。
 - (3) 準備 2施設の写真 画用紙 前時までに調べた情報カード 考えキャッチシート
 - (4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 本時のめあてを確認する。	○ 前時までに集めた情報カードをもとに、自分の考えをもち、友達との交流をして自分の考えを広げることを確認する。
5分	2 本時のめあてを知る。	
	「児童館」と「中央公園」友達を遊びに誘うなら、どちらがいいですか。	
15分	3 どちらの施設に遊びに行くかを考えキャッチシートに記入し、理由を発表する。	○ 前時までに集めた情報カードをもとに考えるように促す。 ○ 選んだ施設の理由を明確にして考えキャッチシートに書かせる。 ○ 友達の考えに付け加えて発表しても良いことを伝える。
10分	4 反対の考えがあれば、発表する。	○ 明確な理由を述べて反論をするように伝える。
5分	5 最終的に友達と遊びにいきたい施設と理由をワークシートに記入する。	○ 最初と違う考えでもよいことを伝える。
評価事項 対話したり協働したりして情報の交流を通し、自分の考えを広げることができる。 □…板書してある友達の考えの中から、いいなと思える考えをいくつか選ばせる。 ☆…友達の考えをふまえて、さらに考えを広げていくように促す。		
5分	6 話し合いの感想を発表する。	○ 本時の話し合いの感想を発表させる。

※ 斜体…情報活用能力を育成する学習活動